

"Clinical Communication in America Today"

(アメリカ医療コミュニケーション事情)

日時：2008年2月6日(水) 13:00~15:00

場所：教養部ヒポクラテスホール1番教室

対象：教養部1年生、2年生全員

すべての学科に共通する医療の基本をビデオを通して学ぼう！

講演者：Dennis H. Novack 教授

(米国 Drexel 大学医学部副学部長・元アメリカ心身医学学会会長)



Dennis H. Novack 教授(MD) 紹介：

デニス・ノヴァック先生は長い間、アメリカの「心身医学学会」の会長をつとめられ、医療コミュニケーション教育に携わってこられました。現在は、米国フィラデルフィアにあるドレクセル大学の医学部副部長として、また内科医として医学教育を行なっておられます。先生はまた、アメリカ医療コミュニケーション教育界のリーダーとして、*JAMA*、*Academic Medicine* などに、医療者が間違いをしたときに、どのような態度でそれを患者に伝えたらよいか、癒し人としての医療者のあり方には何が必要かなど、医療の根源にかかわる問題を様々な論文の中で問題提起されています。

教養部では、2007年度前期に、留学生センターと共同で、教養部2年生を対象に、S科目「映像で学ぶアメリカ医療コミュニケーション事情: Issues in Medical Communication in the US—learning from video clips」を開講しました。このクラスでは、Novack 先生が総監修でかわかり、American Academy on Communication in Healthcare(AACH) によって作成された E-learning 教材 Doc.com モジュールを試験的に利用して授業を行い、アメリカの医師・患者間コミュニケーションについてたくさんを学びました。

今回はこの教材を監修され、アメリカ医療コミュニケーション教育界をリードしておられる Novack 先生が、特別に東京医科歯科大学教養部学生のために実際の医療場面のビデオを使用しながら講演をしていただきます。めったにないチャンスですので、皆さん、ふるって参加してください。

なお、この講演は文部科学省科研費(B)「医歯学系留学生のためのeラーニングによる医療コミュニケーション学習システムの開発」(代表山下早代子)の助成金により実施されます。